

百人町教会週報

主日ズーム礼拝

司会 赤尾泰子
証詞 山崎麻里子
奏楽 録音

前奏 Prelude

讃美 Hymn **529 番**(主よ、わが身を)

聖書 Script **使徒言行録 5 章 12-16 節**(新 221p)

祈祷 Prayer

主の祈り A Lord's Prayer C **93-5 A**

献げ Offering

報告 Report

証詞 Testimony **「教会といやし」**

祈祷 Prayer

讃美 Hymn **563 番**(ここに私はいます)

懇談会 Informal discussion

祈祷 Prayer

応答 Response roba1970@purple.plala.or.jp

今年の聖句

「わたしはすべての人にわが霊を注ぐ。あなたたちの息子や娘は預言し、老人は夢を見、若者は幻を見る。」ヨエル 3 の一

今週の聖句

「また、エルサレム付近の町からも、群衆が病人や汚れた霊に悩まされている人々を連れて集まって来たが、一人残らずいやしてもらった。」使徒五の 16

✦ **本日の集会** (Zoom ID 「607 777 8018」 PW 「roba1970」)

✦ **来週の集会**

主日礼拝(Net) 11 月 27 日(日)午前 10 時半 証詞 賈 晶淳氏

お茶の間 11 月 27 日(日) 休む

北支区連合祈祷会(Zoom) 12 月 2 日(金)午後 7 時

北支区クリスマス礼拝(Zoom) 12 月 3 日(土)午後 1 時
祈祷会・クリスマス申込 kita49inori@gmail.com(田島)

✦ **消息と案内**

次回聖書研究会(Zoom) 12 月 7 日(水)午後 7 時半

聖書 マカバイ記一 12 章 担当 赤尾泰子氏

掛井五郎一周忌展 GORO と FUMI 11 月 1 日(火)-12 月 4 日(日)
ギャラリー TOM(渋谷区松濤 2-11-1)

✦ **特別献金** (献金送り先 郵貯口座 10120-92486841 日本基督教団百人町教会)

権田一正氏(結婚 50 周年感謝)

✦ **先週の集会報告** 女子 男 計 席上献金

主日礼拝 11/13 12,000

聖書研究会 11/16 4 6 10

ろばを読む会 12/13

パンをさく会 12/22

✦ **12 月礼拝・会員日誌担当**

	司会	証詞	奏楽	受付・献金	会員日誌
4	小島悦子	賈 晶淳(Hybrid)			佐藤かよ子
11		賈 晶淳(Net)			小林祥人
18	千葉道代	井谷 淳(Zoom)			渡邊 恵
25	坂百合子	賈 晶淳(Zoom)			西堂いづみ

集会場所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-13 東京家政専門学校 2 階 <http://www.hyakunincho-church.com> 携 090(6176)5403

連絡先 〒162-0066 新宿区市谷台町 14-1-701 賈 晶淳(カジヨンス) Tel/Fax 03(6273)2930 E-mail:hyakuninchoroba@gmail.com

◇牧師日誌◇

No. 735

11 月第 1 週(6 日)の主日礼拝を高田馬場にて 2 年半ぶりに行なった。ハイブリッド礼拝(対面とズーム)としては初めてで、対面には世話人を中心に 8 名、ズームには 12 名が参加。初めてのこともあり 10 時少し前から皆さんの協力を得て会場の準備に取り掛かった。少人数であったためテーブル配置はほぼそのままにし、永眠者の写真を飾る場所と司会や証詞者のための長いテーブル二つを前に置き、パーティションを設置し、ズーム礼拝のためのプロジェクターやパソコンを設定し、その後持ち込みの Wi-Fi でズームに繋げ、皆さんが参加されるのを確認したところで安堵。ただ、応答時にオルガンの音や証詞の声が聞こえづらかったと複数の方から聞かれ、原因を探したところ讃美や証詞中にズームをミュートにするのを忘れ、拾われた声が邪魔していたことを確認した。ネットには予備に IC レコーダで録音したのを載せることで解決した。高田馬場にての今年度中のハイブリッド礼拝は 1-3 月の第 3 週を予定している。

先週、コロナの感染者が全国で 10 万人を超え、第 8 波が始まったと見ているとの報告がある。しかし、町ではマスクをしていない人が相当増えている。10 日(木)に近所の新宿区の出張所で 5 回目のワクチンを接種した。ワクチンはオミクロン対応のファイザー社の「BA. 4-5」であった。4 回目までは接種間隔が 5 ヶ月だったが、今回は 3 ヶ月が変わった。ワクチン接種後はこれまでのように腕の痛みはあったが熱などもなかったが、翌日から体がだるい感じがして、横になる時間が多くなり、それを歳の所為だと自分を励ましながら過ごしたが、1 週間後にはそのだるさがぴったりと消えたので、後でそれが副反応であったのではないかと思うようになった。

◇会員日誌◇

高島敦子

アメリカの第 16 代大統領エイブラハム・リンカンの伝記の翻訳がやっと完成した。今日 11 月 20 日に新評論から出版された。原作は、アメリカの歴史学者スティーブン・オーツが書いた B5 本文 412 ページの大作である。日本語版も、写真や人名索引を入れて 754 ページの分厚い本だ。片手で持ち上げるのにかなりの力が必要。

こんなに長い時間がかかるとは思っていなかったが(9 年プラス 2 年)とにかく完成し、私の力は尽き果てた。研究社の『新英和大辞典』と、三省堂の『新明解国語辞典』と一緒に読みつづけたおかげで、視力も大はばに弱った。南北戦争の名前で知られている、アメリカの南部と北部の対立のさ中に大統領となったリンカンの、精神的肉体的苦勞とは比べものにならないだろうが、私は疲れ果てた。しかし、何とかやり遂げた、という満足感で一杯だ。

政治家になるためには、白いものを白、黒いものを黒と言ってはいけない、と教えてくれたのは亡き父だが、リンカンはそれを実行した人だった。だから敵が大勢いた。第 2 次大統領に就任してから一箇月半もしないうちに、彼は南部出身のある白人青年に暗殺された。彼の遺体が置かれたホワイトハウスの広間に集った人々の反応は様々だった。政治的には意見が対立していた側近のある州議会議員は彼の遺体にすがりついて話しかけ、医師団にもうこの方は死んでいられます、と言われてもいつまでもリンカンの顔に頬をよせてすすり泣いていた。又、昔弁護士時代にリンカンと同じ事件を担当していた陸軍長官は、必死に涙をこらえて彼の遺体を見守っていた。

私は、リンカンは偉大な政治家であったと同時に真の愛の人だと思っていた。彼の背後には、「汝の敵を愛せよ」と言われたナザレのイエスの姿が見え隠れしている。今世界では、南北戦争時代のアメリカの分断とは比べものにならない、大きな、そして深刻な分断が起こっている。これはいつ、どのようにして乗り越えられるだろうか。残り少ない人生を、この問題に向き合って生きて行かなければならない、と考えています。